



## 2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年10月31日

上場会社名 ジェイテック 上場取引所 東  
コード番号 2479 URL <https://www.j-tec-cor.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤本 彰  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営企画室長 (氏名) 村田 竜三 TEL 03-6228-6463  
四半期報告書提出予定日 2023年11月8日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第2四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	1,624	2.9	65	89.5	65	4.2	33	3.8
2023年3月期第2四半期	1,578	10.5	34	—	62	816.3	31	—

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 35百万円 (2.1%) 2023年3月期第2四半期 34百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	4.14	—
2023年3月期第2四半期	4.01	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第2四半期	1,981	1,069	54.0	133.98
2023年3月期	2,012	1,068	53.1	134.06

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 1,069百万円 2023年3月期 1,068百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	—	—

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,750	18.0	310	73.2	310	42.4	170	29.2	21.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	8,572,400株	2023年3月期	8,572,400株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	586,700株	2023年3月期	604,900株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	7,971,180株	2023年3月期2Q	7,936,100株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症が5類感染症へと移行し、同感染症の影響から回復する中、社会経済活動が一段と正常化へと向かい、経済活動の正常化が進み国内景気は穏やかな回復基調となりました。一方、米国金融政策による円安の加速や海外経済の減速懸念、長期化するウクライナ情勢等から資源・資材価格の高騰が続き、世界情勢の不安定が顕在化、先行き不透明な状況は継続しております。

このような環境の下、多くの産業界で人手不足状態、特に派遣や請負等、とりわけ、当社グループの主力事業である技術職知財リース事業においては、顧客企業からのニーズが強い状況となっており、技術者人材派遣等に係る同業社間においても、人材確保や育成強化等、競争激化傾向が顕著であります。

当第2四半期連結累計期間において、売上高は、テクノロジストの稼働率および単価上昇等から増収となりました。また、利益面でも売上総利益、営業利益、経常利益、純利益と全ての利益段階で前年同期実績を上回り、増収増益の結果となりました。特に、営業外収益においては、第1四半期および第2四半期とも前年度までの特例的な助成金収入がなくなるも、当四半期の好調な業況が奏功して、第1四半期には対前年同期比で経常減益となった状況を巻き返し、累計期間で経常増益への逆転を実現しました。以上の結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高1,624,335千円（前年同期比2.9%増）、営業利益65,812千円（同89.5%増）、経常利益65,345千円（同4.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益33,015千円（同3.8%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ① 技術職知財リース事業

当第2四半期連結累計期間は、主に当社グループのテクノロジストの単価・労働工数が増加したことにより売上高は増加いたしました。その結果、売上高は1,610,730千円（前年同期比3.2%増）、セグメント利益は241,660千円（同14.6%増）となりました。

#### ② 一般派遣及びエンジニア派遣事業

当第2四半期連結累計期間は、引き続き休止している業務もあり、売上高は13,604千円（前年同期比20.1%減）、セグメント損失は2,582千円（前年同期は4,193千円のセグメント利益）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は1,981,105千円となり、前連結会計年度末より31,553千円の減少となりました。これは主に現金及び預金の減少53,868千円によるものであります。

負債合計は911,155千円となり、前連結会計年度末より33,355千円の減少となりました。これは主に長期借入金の返済による減少40,056千円によるものであります。

純資産合計は1,069,949千円となり、前連結会計年度末より1,802千円の増加となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上33,015千円によるものであります。

この結果、自己資本比率は54.0%と前連結会計年度末の53.1%に比べ0.9ポイント上昇いたしました。

## ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ53,868千円減少（前年同期は57,063千円の減少）し、1,278,965千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、得られた資金は32,720千円（前年同期は4,721千円の収入）となりました。これは主に、法人税等の支払額46,196千円等により資金の減少があったものの、税金等調整前四半期純利益65,345千円及び未払金の増減27,368千円等により資金が増加したことによるものであります。

## （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、使用した資金は672千円（前年同期は1,332千円の収入）となりました。これは主に、敷金及び保証金の回収による収入248千円があったものの、敷金及び保証金の差入による320千円、有形固定資産の取得による600千円支出により資金が減少したことによるものであります。

## （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、使用した資金は85,917千円（前年同期は63,118千円の支出）となりました。これは主に、長期借入金の返済による52,426千円等により資金が減少したことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想につきましては、2023年5月11日の「2023年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,332,834	1,278,965
受取手形	669	990
売掛金	433,674	454,866
契約資産	7,740	6,258
電子記録債権	1,676	2,219
仕掛品	272	—
前払費用	64,578	75,839
その他	10,963	7,212
流動資産合計	1,852,409	1,826,351
固定資産		
有形固定資産	44,807	42,146
無形固定資産	1,811	1,510
投資その他の資産		
敷金及び保証金	42,302	40,174
繰延税金資産	65,383	65,236
投資有価証券	5,943	5,686
投資その他の資産合計	113,630	111,097
固定資産合計	160,248	154,753
資産合計	2,012,658	1,981,105
<b>負債の部</b>		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	98,282	85,912
未払金	88,245	115,900
未払費用	58,285	64,537
未払法人税等	55,920	37,470
未払消費税等	59,356	47,852
預り金	22,773	18,191
賞与引当金	161,545	170,760
その他	103	83
流動負債合計	544,513	540,706
固定負債		
長期借入金	161,323	121,267
退職給付に係る負債	238,675	249,182
固定負債合計	399,998	370,449
負債合計	944,511	911,155
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	261,834	261,834
資本剰余金	250,483	253,771
利益剰余金	657,941	651,119
自己株式	△92,162	△89,389
株主資本合計	1,078,097	1,077,336
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,665	3,486
退職給付に係る調整累計額	△13,615	△10,873
その他の包括利益累計額合計	△9,950	△7,386
純資産合計	1,068,147	1,069,949
負債純資産合計	2,012,658	1,981,105

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	1,578,408	1,624,335
売上原価	1,155,378	1,140,238
売上総利益	423,029	484,097
販売費及び一般管理費	388,294	418,284
営業利益	34,734	65,812
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	78	94
助成金収入	27,996	—
その他	707	17
営業外収益合計	28,782	112
営業外費用		
支払利息	794	579
営業外費用合計	794	579
経常利益	62,723	65,345
特別損失		
固定資産除却損	—	0
特別損失合計	—	0
税引前当期純利益	62,723	65,345
法人税、住民税及び事業税	27,115	32,103
法人税等調整額	3,806	225
法人税等合計	30,922	32,329
四半期純利益	31,801	33,015
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	31,801	33,015

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	31,801	33,015
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△245	△178
退職給付に係る調整額	3,277	2,741
その他の包括利益合計	3,032	2,563
四半期包括利益	34,834	35,579
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	34,834	35,579
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	62,723	65,345
減価償却費	4,054	3,561
受取利息及び受取配当金	△79	△95
支払利息	794	579
助成金収入	△27,996	—
固定資産除却損	—	0
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△136	9,214
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	5,570	13,248
売上債権の増減額 (△は増加)	△19,589	△20,592
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△700	272
未払金の増減額 (△は減少)	△23,040	27,368
未払費用の増減額 (△は減少)	2,687	6,251
未払消費税等の増減額 (△は減少)	321	△11,504
預り金の増減額 (△は減少)	14,038	△4,582
その他	3,502	△9,734
小計	22,152	79,333
利息及び配当金の受取額	79	95
利息の支払額	△742	△512
助成金の受取額	27,996	—
法人税等の支払額	△44,763	△46,196
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,721	32,720
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△1,410	△600
敷金及び保証金の差入による支出	△382	△320
敷金及び保証金の回収による収入	3,125	248
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,332	△672
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△55,242	△52,426
配当金の支払額	△7,876	△39,551
自己株式の処分による収入	—	6,060
財務活動によるキャッシュ・フロー	△63,118	△85,917
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△57,063	△53,868
現金及び現金同等物の期首残高	1,284,527	1,332,834
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,227,464	1,278,965

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自2022年4月1日至2022年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 1
	技術職知財 リース事業	一般派遣及び エンジニア 派遣事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,561,389	17,019	1,578,408	—	1,578,408
セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	3,151	3,151	△3,151	—
計	1,561,389	20,170	1,581,559	△3,151	1,578,408
セグメント利益	210,831	4,193	215,025	△180,290	34,734

(注) 1. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. セグメント利益の調整額（△180,290千円）の主なものは、親会社本社の管理部門に係る費用であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間（自2023年4月1日至2023年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 1
	技術職知財 リース事業	一般派遣及び エンジニア 派遣事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,610,730	13,604	1,624,335	—	1,624,335
セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—
計	1,610,730	13,604	1,624,335	—	1,624,335
セグメント利益又は損失（△）	241,660	△2,582	239,078	△173,266	65,812

(注) 1. セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. セグメント利益又は損失（△）の調整額（△173,266千円）の主なものは、親会社本社の管理部門に係る費用であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。